2026 年冬の聖書セミナー申込書

12/26(土)~31(木)

Camp Cedar Falls にて

(申し込み締め切りは 12 月 13 日)

- 参加費は、宿泊費、一日三回の食事、また施設使用費込み。
- 申込は全参加と部分参加に分かれており、割引は全参加の場合のみ適用できます。
- 3 才以下の子供は無料。尚、１１才以下の子供だけによる参加はお断りします。
- 申込締め切り日以前のキャンセルは、申込料＄２０を除いて、払い戻しされます。尚、締め切り日以降のキャンセルは、払い戻しはできませんので、ご了承下さい。

全参加：全部の日程に参加する場合

		一人につき	人数	合計
大人 (12 才以上)		＄400	x	= ＄
子供 (4−11 才)		＄200	x	= ＄
			中計	＄
割引 *	家族	＄50	x	= ＄
	海外参加者	＄50	x	= ＄
			支払い合計	＄

＊割引（3 才以下の子供には適用されません）：

- 家族での参加は、二人目から 50 ドル割引。
- 海外からの参加者は、一人につき、50 ドル割引。



部分参加：部分的に参加する場合

- １回のセッションにつき大人 30 ドル、子供 (4-11 才まで)15 ドル。
- 朝、午後、夜のセッションには食事代、また宿泊の場合はベッド代、またすべてのセッションに施設使用費が含まれます。
- 参加するセッションにチェックして下さい.

	12/26 土	12/27 日	12/28 月	12/29 火	12/30 水	12/31 木	
朝		聖日礼拝					参加セッション数は 全部で ＿＿つ
午後	なし	なし				なし	
夜	なし					なし	
宿泊	なし					なし	

	一人／セッション	人数	参加セッション数	合計
大人 (12 才以上)	＄30	X	X	=＄
子供 (4−11 才)	＄15	X	X	=＄
			支払い合計	＄



彼らがこう祈ると、その集まっていた場所が震い動き、一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語りだした。(使徒 4:31)。

参加者名（参加するお子さんの年齢もご記入ください）：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

市＿＿＿＿＿＿＿＿　州＿＿＿＿＿＿

郵便番号:＿＿＿＿＿＿＿＿

私（たち）は、ここに、この 2026 年ダヴァール冬の聖書セミナーの間、ダヴァール教会、及び Camp Cedar Falls の定める決まりや注意事項に従い、また聖書に示されている基準に従って、互いに愛し合うことを同意します。また、会場へのドライブを含め、セミナー期間中における、私（たち）の持ち物の紛失、事故、また怪我などの責任はいっさい私（たち）にあることを認めます。

この申込書とともに、セミナー費 ＄＿＿＿＿を支払います。

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（代表者のみで結構です。）

日付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿



DAVAR Church

ダヴァール教会についての詳細は www.davarkg.com。
申込書は電子メールにて　camp@davar.org　にお送り下さい。申込料は、チェック、または、PayPal にてお願いします。

Davar Kingdom of God:
1098 Rose Ave. Pasadena 91107



Camp Cedar Falls への行き方

San Bernardino フリーウェイー10 番を東へ、Redlands 市に向かい、市の手前の Alabama という出口で降りて、左に曲がる。2ブロック程行くと、Lugonia に出る、そこを右に曲がる。Lugonia をまっすぐに進み、Mentone (道はそのままで Hwy 38 に変わる)を過ぎ、Angelus Oaks に来る。Angelus Oaks より、3マイル進むと、左に Camp Cedar Falls の入り口が見える。時間は、LA 中心地より、1時間半から2時間ぐらい。ガソリンスタンドは、Redlands を過ぎると、Big Bear まではない。

Camp Cedar Falls
39850 State Hwy 38
Angelus Oaks, CA 92305
Tel: 909-794-2911



Camp Cedar Falls

それですから、私はあなたに注意したいのです。私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です(2 テモテ 1:6-7)。

これは、パウロがローマでの二度目の投獄中、自身の生涯が終わりに近づいたことを知り、テモテに書いたことばです。イエス様も、復活後、地上を去られる前に、弟子たちに語られました。

さあ、わたしは、わたしの父の約束してくださったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい(ルカ 24:49)。

「力を着せられるまで」とは、弟子たちも、イエス様の死と復活を目撃しても、まだこの「力」を受けてはいなかったということです。

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります(使徒 1:8)。

物質の世界において $E=mC^2$ で表されるエネルギーが存在するように、霊の世界にも実質のある力が存在します。これを抽象的な知識の領域におけるものや、感情の高まりのように考えると、その力を誤解し、世の環境の中、輝きもなく、敗北の生活をすることになります。

終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい(エペソ 6:10-11)。

「終わりに言います」ということばが示すように、真理を聞いて理解した人に必要なことは、この「大能の力によって強められる」ことです。心の暖炉に入れた薪に火を付けて、「燃え立たせる」ことです。礼拝に参加して、みことばを聞き、いくら恵まれた感じがしたとても、それに火を付け、息を吹きかけ、赤く燃えることがなければ、実質のある「大能の力」が生活の中に働くことはありません、そして、聖書は、そのために信者たちが同じ場所に集まる必要があることを教えています。同じみことばの薪を持った信者たちが集まると、多くの薪が積まれて、聖霊の火がそれに発火しやすくなるからです。

五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。

しかも、薪は一旦燃えても、時間が経つと、熱を失い、火はだんだんと消えていきます。過去に何度も燃えたことのあるテモテも、再びそれに新しく薪を足して、息を吹きかけ、「燃え立たせる」必要がありました。さあ、かつては燃えても、今はくすぶっている人、また、未だ燃えたことのない人も、ともに集まり、新しい薪を加えて、互いの火を燃え立たせようではありませんか。

燃え立たせよ!

それですから、私はあなたに注意したいのです。
私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、
再び燃え立たせてください。
(2 テモテ 1：6)

冬

第22回
ダヴァールの聖書セミナー

2026年12月26日~31日

米国キャリフォルニア州
Camp Cedar Falls にて
講師: 浅井導牧師